

性売買女性の顔出し・実名報道による人権侵害に抗議します

2025年7月25日

性売買経験当事者ネットワーク灯火

1. 報道の影響力を女性の人権侵害のために使わないでください（なお、20代女性）

今回の報道を目にしたとき、言葉にならないほどのショックを受けました。震えて涙がでそうになりました。

彼女たちの姿が全世界中に晒されたことで、無数の人たちから「顔がどうだ」「こんな顔でよくできるね」「こいつとだったらやれる」と、言われるんだろうと思いました。実際にこれらの記事には「いいじゃん」「どれも無理だわ」「チェンジで」「これに金払うのか」「〇〇さんだけはアリだな」「きたねえな」という読者のコメントが溢れています。

今回の報道により、顔や名前を晒されてしまった女性たちはこれから、犯罪者と言うレッテルを貼られて生きないといけなくなりました。彼女たちを買った男性は報道でもモザイク処理がなされていました。買春した人はどこのだれかも報道されることもなく、犯罪者にならないのに、性を買われた女性たちだけが責められます。

性売買女性として顔や名前を出されたら、生きていけないです。就職もできない。この先、恋愛や結婚をしたいと思っても、「どうせ性売買したんでしょう」という目で見られ、生きていくのに100%不利になります。それで追い込まれたら、死ぬしかありません。

私も性売買を経験した当事者ですが、顔を出していなくても、これまでの傷つきから、人の目を気にして生活しています。性売買を経験した女性たちは、性を買われるなかで、あらゆる形での暴力、搾取、被害を受けます。そして、社会から差別と偏見の目で見られます。そのことで、被害から抜け出して、性売買をしないで生活できるようになっても、人の目を気にして生きて行かなければならなくなります。自分が性売買をしていたこと、体を売っていたことが誰かに気づかれるんじゃないか、自分を買った男に出会ってしまわないか、いつも怖くて、外に出られなくなってしまうです。

こんな報道がされたことで、私も、どこにいても、性売買をした女性なんだという目で見られる、そうみられていないとしてもそうみられているのではないかと怯えてしまい、夜も眠れなくなっています。

今も、大久保公園周辺に立っている少女や女性たちには、頼れる人がいなかったり、ホストなどで借金を背負わされたり、男の人に騙されてお金を稼ぐように言われて立っている人ばかりです。今そこにいる少女たちも、この報道を見て、誰も守ってくれない、私もいつかこうなるんじゃないかと怖いと思います。死にたくなると思います。

私が性売買をはじめたのは14歳の時でした。帰れる家がなく、仕事もなく、路上で「いくら？」
「5000円でどお？」って言われ、応じる日々でした。病気を移されたり、レイプされたことも妊娠したこともあります。自分を買おうとする男性と性行為をすること、それ自体が自分をえぐるような行為でした。買春者は私を性欲処理の道具として扱い、人として扱っていないからです。

支援団体につながり、性売買から抜け出した後も、いつも、何かにおびえたり、周りの目を気にしてしまったりしています。自分を買った買春者に見られているんじゃないかと、周りを、キョロキョロしてしまうのがとまりません。

メディアのみなさんをお願いします。どうしてその子たちが性売買をしなければならなかったのか。女性たちの個人的な問題としてではなく、背景にある苦しみや事情、そしてなにより、買春者がいることや、大久保公園周辺に立つ少女や女性達を管理し性売買させる組織や人物がいることを報じてください。表面的な報道ではなく、取材をして性売買の問題をしっかりと伝えてください。

本当をお願いします。その子たちの立場にすこしでも立ってください。

頭の片隅に

その子の人生があること

その子のこれからの生き方に

大きくかかわってくることを置いてほしいです。

報道の影響力の大きさを忘れずに、その立場を女性たちの人権侵害のために使わないでほしいです。

どうかお願いします。

2. 今回の報道における、性売買女性への報道姿勢、ならびに現状の売買春処罰制度を強く非難いたします（かのん、20代女性）

① 報道姿勢

報道というのは常に「権力を監視」し続けるものであり、市民を批判し、晒し出すものが目的ではありません。

大前提、売買春の彼女らは社会における性搾取の被害者であり、批判されるべきは女性ではなく、買春者そしてそれをきちんと取り締まらない権力者です。

ましてや、今回の女性らは20歳など若い年齢において、半永久的に残り続ける情報として彼女らに大きな不利益を被ります。

お金を受け取る際の動画を隠し撮りしている様子も彼女らが悪いような印象を与えかねません。

「金をだまし取る悪質なグループ」というレッテルを貼り、報道することに大変遺憾であり、報道機関として残念に思います。

② 現状の売買春処罰制度

上記にもあるように、売買春において批判されるべきは「買春者」もしくは「権力者」です。

女性たちはこれまで歴史を見ても、性搾取を余儀なくされ、その他の選択肢を奪われ続けてきました。

現在においてもそれは続いており、「一部の女性」の問題ではありません。現状、私も「高学歴」と称される大学に在籍しながらも性搾取の現場にもいました。それはその選択肢しか無かったからです。表に言えないだけで、多くの女性が性搾取の現状に苦しみ、選択したくない選択肢として性売買の現場にいま、この瞬間もいます。

そうさせてしまっている社会を強く批判します。利権や権力で繋がり続け、女性を悪いものとして仕立てているこの制度や社会を変えて欲しいと強く願うとともに、政治がこの現状を受け止め、行動して欲しいと思います。

3. 性売買女性を社会的に殺す報道を非難します（松本、20代女性）

いつも女性側のみが顔出しで報道されるのは何故なのか。買った方に非はないのでしょうか。顔出しに実名までつけて全国へ垂れ流し、社会は性売買当事者女性をどうしたいのでしょうか。我々が一番恐れる事は性売買当事者である、あった事実が周りの人間へ周知される事です。このような報道のあり方、法のあり方によって我々は社会的に殺されたも同然です。どんなに取り戻そうと思っても過去は付き纏い平穏な日常は一生返ってきません。女性をこんな事をしなければ生きていけないよう追い詰めたのもまたこの社会なの입니다。女性達を面白おかしく囃し立てているだけの悪趣味なメディアには反吐が出ます。

4. 性搾取の構造を踏まえた取材と報道を求めます（さとみ、30代女性）

性売買の経験は、スティグマとして一生付きまといまいます。それなのに報道で顔を晒されてしまった彼女たちは、これからどうやって生きていけばいいのだろう。彼女たちの人権を尊重せず、彼女たちの人生や背景、そしてこの社会の性搾取の構造を理解しようとせずに報道する姿勢に怒りを覚えます。

私は、以前風俗店で働いていました。その時ホームページに載っていた写真や、掲示板に書かれた内容が、今でも検索すると出てきてしまうかもしれません。怖くて調べることもできません。もし私が性売買をしていたと周りにバレてしまったら、きっと軽蔑されたり、嘲笑されたりするのだろうなど不安を抱えながら生きています。

彼女たちはこれから、そんな社会の眼差しに晒されながら生きていかなくはいけなくなってしまうました。これから彼女たちが体を売る以外の生活をしようしても、いつまでも性売買をしていた女性だという目で見られ続けてしまうことに、責任を取ることができませんか。

そして、なぜ、さまざまな事情であの場所に立たなくてはいけない状況になってしまった彼女たちが逮捕され、自分の快樂のために彼女たちを搾取した男たちは野放しなのでしょう。

私は、たまたま逮捕されませんでした。それは私が風営法で許可を受けているお店で働いていたからです。以前は「お店で働いていた方が安全」と思っていました。でも、風俗店で働いていた私の性売買の経験と、大久保公園の周辺に立つ女性たちの性売買の経験に、何か違いがありますか？

どのような形でも、性売買は性暴力であり、性搾取です。

一方では見せしめのように女性を罰しながら、もう一方では女性を買いたい男たちの欲望を満たすために風俗店を温存しつつづけている日本社会は、結局、建前で「売春は社会の善良の風俗をみだす」と言いながら、男たちが性搾取をし続けられるように、むしろもっと性搾取をしやすくなるように、性搾取の構造を強化していっています。

性売買を性道徳の問題にせず、女性の人権が侵害されている性暴力の問題であり人身売買の問題であるとわかって欲しいです。性暴力には加害者がいるし、人身売買にはブローカーがいます。どうかその、性搾取の構造を強化している人たちの方を報道してください。

そして、女性たちの置かれた状況を想像して、どうしたら女性たちが体を売る以外の選択肢を選べる社会にできるのか、この社会を作っている当事者の一人として考えてください。